

望無し大同團結を以て現 幹部を排斥し  
 幹部改選後大同團結に向ふ可しと云ふや  
 尾合せんとせり。横、田二村等の幹部は猛烈  
 立ちし暴暴を攻撃し我等は卒に近し總てを犠牲  
 にして官軍を助るの人の盡く、官軍を助るを  
 順序に在らしむ大いに幹部を排斥しは無謀也  
 甚むしと議論沸騰せしが終る未だ土切の  
 岩佐よりし 幹部会を用しこと 溝伏に十一時散  
 會川村は二十七日夜行して歸政す 西尾は日下  
 歸政中なるも二三日内に歸政する由  
 鈴木西尾川村等は口際勇助会議出席此  
 未大同團結の友を日本勇助總同盟と官軍

勇助總同盟との合併も決断したる由なりは後考  
 は將來合併の氣運を依りて助力ありことなるは  
 此れから身も現も遠く分るべしと批察するも  
 又後考は旅費より各自五百圓を充てしし全  
 團を遊説し組合の大同團結を計ると云ふ張也  
 あり

あり